

基本施策番号・名称	意見 No.	意見元	意見等	担当課	
1 未来につながる教育施策の推進	1	特別委員会	小中一貫校在り方検討会議を令和2年度には設置予定とあるが、あいまいな記述なので担当課に伝えて欲しい。	教育委員会	
		対応	修正有 ：(予定)という記載を削除しました。		
	2	審議会	コミュニティスクール(学校運営協議会制度)については、中学校圏で設置を考えてるべきではないか。	教育委員会	
		対応	修正無 ：将来的には中学校圏とすることが望ましいと考えますが、現在、小学校と中学校で学区が整合しておらず、現段階では各学校に学校運営協議会を設置すべきと考えます。		
	3	審議会	コミュニティスクールと学校運営協議会制度は正確に言うと別ではないか。	教育委員会	
	対応	確認 ：ご指摘のとおりですので、不正確な記述がないか確認します。			
2 新しい時代に必要となる資質・能力の育成	4	審議会	「ALT(外国語指導助手)」とあるが、アルファベット略語の表記では元の単語が何かわからないため、書き換えや説明を入れること。	教育委員会	
		対応	修正有 ：「Assistant Language Teacher」の略で、注釈を入れました。		
	5	特別委員会	単位施策「町費教員等の配置」について、目標値を入れても良いのではないか。	教育委員会	
		対応	修正無 ：教育配置については国県との関係がありますので、町の取組として目標値を設定することは難しいと考えます。		
	6	特別委員会	プログラミング教育も取り入れるべきではないか。	教育委員会	
		対応	見直し予定 ：情報教育の推進に関しては、GIGAスクールへの対応をはじめ施策を取り巻く状況が急速に変化しているため全体的に内容を見直します。		
	7	特別委員会	基本施策6働き方改革と関連付けて、教職員の数を増やす、受け持ち児童の数を減らすなど検討してもよいのではないか。	教育委員会	
		対応	修正無 ：教育配置については国県との関係がありますので、町の取組として目標値を設定することは難しいと考えます。		
		8	審議会	ICTの推進について、基本施策6「働きやすい環境づくりと指導体制の充実」や基本施策7「学びを支える学校環境の整備」を踏まえて、もう少し総合的に捉えてみてはどうか。行政機関のネットワークや図書館運営にも関係してくる。また、アドバイザーを外部から登用することやICT課を設置するなどにも検討してみてもどうか。	教育委員会
		対応	見直し予定 ：情報教育の推進に関しては、GIGAスクールへの対応をはじめ施策を取り巻く状況が急速に変化しているため全体的に内容を見直します。		
		9	審議会	コンピューター-或いはネットワークを使用し、教育環境をどうするかという問題について、データ量の観点からWi-Fi環境も重要になってくる。また、学校でソフトを用意してもiPhoneではうまく見ることができないなどハード面の課題もある。そのため、その課題をどのくらいの時期にどの程度整備すべくかを検討すること。	教育委員会
	対応	見直し予定 ：情報教育の推進に関しては、GIGAスクールへの対応をはじめ施策を取り巻く状況が急速に変化しているため全体的に内容を見直します。			
	10	審議会	個々の単位施策内容が独立しているので、単位施策ごとに指標を置く方が望ましい。	政策課	
	対応	検討 ：総合計画基本計画(後期)全体での対応を検討します。			
	11	審議会	「町費教員等の配置」もめざそう値があつてよいのではないか。	教育委員会	
	対応	修正無 ：教育配置については国県との関係がありますので、町の取組として目標値を設定することは難しいと考えます。			

		12	審議会	「ICTを活用した授業づくり」（研究授業実践）という指標があるが、基本施策がめざす姿にある「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の達成を図る指標として不適だと考える。「ICTの活用」は、教授ツール・学習ツールとしてICTを使うということの意味している。情報リテラシーは新しい時代に必要となる資質・能力の一部ではあるが、この施策は、ICTを活用していない場面でも「主体的・対話的で深い学び」が常に行われていくことを意図した施策であろう。むしろ、単位施策2-01に関する指標が必要ではないか（大学教授等の講師を派遣する校内研究／拠点校での研究発表会等）。	教育委員会
			対応	検討 ：「主体的・対話的で深い学び」に係る目標値は取組の性質から設定が難しく、代表的な取組のひとつであるICTを活用した授業づくりに目標値を設定しています。また、単位施策2-01については目標値を設定するよう検討します。	
3	「豊かな心」の育成	13	審議会	「インクルーシブ教育」、「スクールソーシャルワーカー」、「スクールカウンセラー」等、カタカナ英語の表記は人によって理解が違ってしまいう可能性があるので、細く説明する必要があるのではないかな。	教育委員会
			対応	修正有 ：それぞれ注釈を入れました。	
		14	審議会	指標が「いじめの未然防止、早期発見のための～」となっているが、この目的に限定された指導主事の学校訪問を行うということか。3-02の不登校なども含めて、学校の課題を把握し、改善することを目的とするという意味合いを含めて「いじめの未然防止、早期発見等のための～」とする方が現実的ではないかな。	教育委員会
			対応	修正有 ：ご意見のとおり「等」を追加しました。	
		15	審議会	PTA役員や教育の専門家等が構成員となりうる「学校運営協議会」で各学校でのこれらの課題解決について協議をすることも、地域協働として重要な要素になると考えられるため、「協働でできること」に追加してはどうか。	教育委員会
			対応	修正無 ：「学校運営協議会」については基本施策1の「協働でできること」に記載してありますので、追記はいたしません。	
4	「健やかな体」の育成	16	特別委員会	給食センターについて、町民で建設場所の懸念をしている人もいる。危険区域を避けるようにしていると議会答弁しているので、安全対策についても触れるべきだ。	教育委員会
			対応	検討 ：土地利用に関する法令や基準を満たす内容を追加することを検討します。	
		17	特別委員会	指標「葉山町学校給食基本方針に掲げた7つの方針に沿った取組の達成率」80%は低すぎないか？1年半稼働しているので、少なくとも90%は達成しているべきではないかな？	教育委員会
			対応	検討 ：指標については給食センターの稼働と直接的に関係しないものも含まれているため必ずしも低い目標とは捉えていませんが90%にすることを検討します。	
		18	特別委員会	単位施策「給食センターの整備」について、学校給食だけでなく災害時の対応なども踏み込んで記載してほしい。	教育委員会
			対応	見直し予定 ：防災機能について記述を追加します。	
		19	審議会	4-01「健康・体力作りの推進」ができたかどうかの指標がない。既に100%に近い達成がなされていて、その継続を意図しているということであれば、そうした内容が本文中にある方が分かりやすい。	教育委員会
	対応	見直し予定 ：指標の設定については取組の性質から難しいと思われるので、ご意見のとおり単位施策の記述について見直しを検討します。			
		20	審議会	単位施策5-1に「学習障害（LD）・注意欠陥多動性障害（LDHD）」とあるが、通常は、LDの解説として（学習障害）、或いはLDHDの解説として日本語で注意欠陥多動性障害と書く方が普通だと考える。	教育委員会
			対応	確認 ：文部科学省や厚生労働省の資料にも総合計画基本計画（後期）と同じ表記が見受けられますが、ご意見を踏まえて広く確認します。	

5	多様なニーズに応じた支援の充実	21	審議会	【再掲】「インクルーシブ教育」、「スクールソーシャルワーカー」、「スクールカウンセラー」等、カタカナ英語の表記は人によって理解が違ってしまいう可能性があるため、細く説明する必要があるのではないか。	教育委員会
		対応		修正有：それぞれ注釈を入れました。	
		22	審議会	指標が「通級支援教室の対象」となっているが、ここで言う「通級支援教室」と、本文中の「通級指導教室」や「教育支援教室」との関係が不明瞭。平成29年度の葉山町教育委員会資料を見ると「ヤシの実教室」は、「教育支援センター」（文科省等の示す「教育支援センター（適応指導教室）」）と位置づけられている。これらの用語の整理をして、どの部分での対象を指標とするのかを明確にした方がよい。単位施策を見ると、通級支援だけではなく多様なニーズに対応することが求められることから「教育支援センター」での対応の充実を目指そう値とする方がよいように感じる。また、めざそう値が、「児童・生徒」になっているが、この「生徒」は町立在住の中学生のみ（高校生は含まない）か。	教育委員会
対応		見直し予定：「通級支援教室」は「通級指導教室」の誤りです。また、教育支援教室との違いについては記述の中に説明を加えます。また、生徒とは中学生ですが、高校生も対象にという趣旨であるならば、基本的に基本目標1は教育委員会が所管している小学生と中学生を対象とした施策を記載しています。			
6	働きやすい環境づくりと指導体制の充実	23	審議会	ギガスクールにより、教師としては別の仕事が増えるとの考えもあるが、新しい働き方もあるはず。「葉山町立学校における働き方改革に向けた推進指針」にも記載があつてしかるべきだと思う。	教育委員会
		対応		見直し予定：単位施策6-01にある「統合型校務支援システム」の活用はGIGAスクールに対応した取組となります。なお、「葉山町立学校における働き方改革に向けた指針」については、令和2年度末までに改定を予定しておりますので、ご意見を踏まえた対応を検討します。	
7	学びを支える学校環境の整備	24	審議会	単位施策7-1に災害のことにも触れており非常に良い。 ただ、近年では毎年自然災害が発生し、今回の新型コロナウイルスもあるため、もう少し複合災害のイメージを持った施策にすると良いのではないかと。	政策課
		対応		検討：新型コロナウイルスの影響は様々な取組に及ぶため、個々に記述した場合かなりの重複感が生じるものと思われます。総合計画基本計画（後期）全体での対応を検討します。	
8	生涯学習の振興	25	審議会	昨今の状況をふまえ、必ずしも対面実施・直接体験の生涯学習を行う地元の登録団体数の増加のみを目標とするのではなく、オンライン形式の生涯学習に参加できる環境整備や、町発信のオンライン授業・資格認定（インスタの写真を使って認定試験をするなど基本施策11の内容と関連付けた教養教育）、国際姉妹都市間での語学・文化のオンライン勉強会（基本施策13と関連付けた教養教育）等の取り組みも、生涯学習の振興につながるのではないかと。	教育委員会
		対応		検討：オンラインの活用は「学び」の手段のひとつであり時代の要請でもありますので前向きに検討したいと思います。	
		26	特別委員会	めざそう値「週1回以上運動・スポーツをする人の割合」と基本施策16めざそう値「1回30分以上の運動を週2回以上1年以上継続している人の割合」の両方で「運動割合」が指標となっている。整合を図った方がよい。	教育委員会
		対応		修正無：根拠となる法体系が異なる中で、スポーツ施策においては全町民を対象としている一方、健康増進施策においては特定健診受診者を対象としているため、難しいと考えます。	
		27	特別委員会	町民体育館が不要なのであれば、屋内スポーツを屋外で出来るように整備してもらいたい。そして町民の評判で判断してもらいたい。	

10	生涯スポーツ活動の推進	対応	修正無 :スポーツ推進計画(案)では、「『体育館(室内プール含む)等の施設がほしい』など、施設の充実を求める声が多いことは承知しているが、公共施設総合管理計画(H29.3)では、町の公共施設の改修・更新に必要な経費は、今後40年間で総額483億円と試算されているなど、スポーツ施策単独での整備は困難な状況であり、中長期的に複合化や集約化など、公共施設未来プロジェクトで検討する必要がある」としています。	教育委員会
		28 審議会	単位施策10-01「生涯スポーツ活動の機会提供」については、基本施策16の単位施策16-01「自発的な健康づくりの支援」と同じ施策にしてもよいのではないか。	教育委員会
		対応	修正無 :健康づくりの支援としてスポーツを捉える考え方もありますが、スポーツ施設の利用のしやすさを考慮した現在の町の組織体制を踏まえると、「生涯スポーツ活動の機会提供」と「自発的な健康づくりの支援」の施策の一本化は将来的な検討課題とさせていただきます。	
11	芸術・文化活動の振興と文化財の保護・活用	29 特別委員会	福祉文化会館の活用方法・各施設の必要性について本格的に検討を行った方がよい。	福祉課
		対応	修正無 :今後、実施計画等で福祉文化会館の活用方法・各施設の必要性について本格的に検討を行います。	福祉課 教育委員会
		30 審議会	指標で、「しおさい公園入園者数」、「福祉文化会館の鑑賞人口」とあるが、これが「葉山らしい品格と郷土への誇りが育まれる」とどのような形でつながるのか疑問。例えば森山神社の「お水取り」は県の無形文化財に指定されているが、そのような文化財に対する見方、成り立ち等を理解してもらうことの方が有効なのではないか。	
		対応	修正無 :文化財の保存活用を測る指標については検討の余地はあるかと思いますが、文化行政全体における文化財保護施策の位置を考慮し、1つの指標としております。また、基本方針において、芸術・文化を身近に感じられる機会を提供するとしており、単位施策11-01を「芸術・文化にふれる機会の提供」としています。その中で、まずは長期にわたって整備工事を実施している長柄桜山古墳群の進捗について総合計画で指標化していく必要があると考えております。	
12	図書館サービスの充実	31 審議会	「マルチメディアデジタイズ図書」というカタカナ英語表記について、解説があるもののきちんとした解説になっていない。「○○とは、～です」という記載に直す必要があるのではないか。	教育委員会
		対応	修正有 :注釈を入れました。	教育委員会
		32 審議会	「図書館のレファレンスサービス」もわからない方もいらっしゃるかもしれない。図書館の重要な機能なので丁寧に記載する必要がある。	
		対応	修正有 :注釈を入れました。	
13	姉妹都市交流の推進	33 特別委員会	友好都市に関する取り組みを単位施策13-01に入れてもらいたい。	政策課
		対応	修正有 :単位施策13-01に友好都市の記載を追記しました。	
		34 特別委員会	いかにして葉山で生み育ててもらえるかを記載した方がよい。	子ども育成課
		対応	修正有 :「基本施策がめざす姿」で挙げている2項目に加え、「仕事と子育てを両立するための環境づくりを行い、安心して子どもを生み育てることができています。」の項目を追加しました。	
		35 審議会	現在、町で実施している学童は18時までだが、民間学童と併用する仕組みがあれば働きやすさにつながるのではないか。	子ども育成課
		対応	修正無 :公営と民営の放課後児童クラブ(学童クラブ)では、対象学年や開所時間など運営方法が異なるため、保護者が就労時間や世帯の状況などにより、利用しやすい放課後児童クラブ(学童クラブ)を選択しているものと認識しています。	
36 審議会	まちづくり指標として、認可保育園数や学童保育については、施設の数ではなく、待機乳幼児数・待機児童数を指標とすべきではないか。子育て支援施策の満足度のめざそう値が低すぎないか。せめて過半数にできないか。			

15	子ども・子育て支援の充実	対応	<p>一部修正有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指標名「認可保育園数」を「待機児童数」に修正します。それに伴い、「現状値」及び「めざそう値」を人数での記載とし、「現状値」は「52人」に、「めざそう値」は「0人」とします。 ・指標名「子育て支援施策の満足度」の「めざそう値」を「70%」に修正します。 ・指標名「学校内での学童クラブ実施」においては、町内全ての小学校内での放課後児童クラブ（学童クラブ）の実施を目標としていることから、「現状値」及び「めざそう値」は修正しません。 <p>なお、従来より「学童クラブ」としていましたが、「放課後児童クラブ（学童クラブ）」の名称に統一することとしましたので、指標名を「学校内での放課後児童クラブ（学童クラブ）実施」に修正します。併せて、当該指標名の「備考」及び次ページ「15-01子育て支援サービスの充実」にある「学校内での学童クラブ実施」を「学校内での放課後児童クラブ（学童クラブ）の実施」に修正します。</p>	子ども育成課	
		37	特別委員会	「町内6字分」とあるが、外部の人も見るので、字ではなく地域や地区など分かりやすい表記をお願いします。	町民健康課
16	健康づくりの支援・推進	対応	修正有 ：字名を追記しました。		
		38	特別委員会	単位施策16-01の「ウォーキングマップ」について、配布だけで効果があるのか？ウォーキングで強化していこうというならば、配布だけでない取り組みをお願いします。	
		対応	<p>修正有：「各種健康増進教室の実施や、町内6字分（堀内・一色・長柄・上山口・下山口・木古庭）のウォーキングマップの作成配布、およびマップを活用してのウォーキング教室の実施、健康増進施設利用補助事業による運動習慣の動機づけ、保健師や管理栄養士による各種保健指導や地域活動団体等との連携等を通して『自分の体は自分で守る』という意識の普及・啓発を図り、町民自身の健康づくりを推進します」に修正しました。</p>	町民健康課	
		39	審議会	基本施策10「生涯スポーツ活動の推進」にも記載があるが、私自身スポーツを通じて学ぶことが多かったので、ぜひ推進するべきだ。	町民健康課 教育委員会
		対応	修正無 ：推進に努めてまいります。		
		40	審議会	基本施策16の単位施策16-01「自発的な健康づくりの支援」については単位施策10-01「生涯スポーツ活動の機会提供」と同じ施策にしてもよいのではないかと。	
対応	修正無 ：「自発的な健康づくり支援」は、運動やスポーツ推進に限らず、保健指導や各種教室の実施などを通し、「食生活」や「生活習慣全般」に対する町民の意識の向上をめざす支援であるため、このまま別項目の単位施策として計画したいと考えます。	町民健康課			
		41	特別委員会	まちづくり指標「小地域福祉活動推進組織数」について、単位施策18-01に記載がある「小地域福祉活動」との関連性を工夫して記載した方が良い。左右のページの整合として、位置づけが分かるようにしてほしい。	福祉課
		対応	修正有 ：指標の値について、直近の数値に修正し、また基本施策18-01の記載内容をまちづくり指標「小地域福祉活動推進組織数」との関連性を意識した内容に修正しました。		
		42	特別委員会	協働のできることに記載のある空き家の活用については、前回の記述よりも踏み込んだ記載となっている。それならば単位施策に入れても良いのでは？	
		対応	修正無 ：「空き家」の活用については、町内8圏域に設置する協議体の中で、地域住民との話し合いの中で議論を深め、社協・地域住民との協働により働きかけを行うものであり、単位施策への記載については、第4次総合計画中に方向性を形作り、第5次計画での検討事項とさせていただきます。	福祉課	

18	地域福祉の充実	43	審議会	「だれもが孤立することなく」相互に支え合っているかの達成度合いを確認するためにはまちづくり指標として関連組織や団体数の増加を目指すのではなく、孤立死やいじめによる死がない（或いは減っている）ことや、アンケート等で、孤立していると感じている人がいない（或いは減っている）、誰もが困ったら相談できる相手がいると感じられている、ということなどを評価の指標とすべきではないか。	福祉課
			対応	修正無： 孤立死については、定義が明確でないこと、またいじめによる死については、地域福祉関連の項目だけでは対応できないものであることから、指標として記載することが困難です。 さらに、アンケート等による「孤立していると感じている人がいない」、「誰もが困ったら相談できる相手がいると感じられている」については、現在、世代を超えた町民を対象にその種のアンケートを行っていないため、指標として記載することが出来ません。	
19	高齢者福祉の充実	44	審議会	指標について「普段、自分が健康だと思うと考えている人の割合」とあるが、基本施策16「健康づくりの支援・推進」の指標と比べて、主観的な指標であるため客観的な指標に変更した方が良いのではないか。	福祉課
			対応	一部修正有： 指標の値について、直近のアンケート結果に修正しました。地域包括ケアシステム構築を図る指標としては、主観的な指標も重要なものであると考えるので、「普段、自分が健康だと思うと考えている人の割合」を指標とさせていただきます。	
		45	審議会	まちづくり指標に、要介護対象者への対応の充実がない。介護予防はもちろん重要であるが、介護サービスの充実に関する指標は必須なのではないか。	福祉課
	対応	修正無： 介護サービスの充実に関する指標は、3年ごとにその時点での高齢者数、要支援・要介護認定者数、介護サービスの需給状況等を勘案して改定する「介護保険事業計画」に定めるものであり、長期的な視点に立つ総合計画のまちづくり指標としては記載することが難しいものです。（長期的な町のビジョンを示す総合計画と3年ごとに改定する介護保険事業計画との整合性がなくなる可能性があります。） したがって、介護サービスの充実についてはまちづくり指標ではなく、単位施策として記載させていただきました。			
20	障害者福祉の充実	46	特別委員会	障害者計画ができあがるが、町に相談をできる窓口や事業所がない。そことも合致させて書いてもらいたい。	福祉課
			対応	修正無： 令和2年度に葉山町障害者計画を改定します。相談支援の向上を図れるよう葉山町障害者福祉計画策定委員会で審議いただき、計画を策定してまいります。	
		47	特別委員会	認知症サポーター講座等も行われているので、もっと皆が支えていくんだということを表現した方が良い。	福祉課
			対応	修正無： 基本方針において「障害のある人もない人も、互いに個人の尊厳を重んじ、共に支え合い、共に安心して暮らせるまちづくりを進めます」としています。	
21	緑の保全	48	特別委員会	まちづくり指標について、イノシシも追加してもらいたい。	環境課
			対応	修正有： 指標にイノシシを追加しました。	
		49	特別委員会	生ごみ分別収集の記載があるが、ごみ処理施設について記述がない。生ごみ処理機普及ではなく施設について示したほうが良いのでは？	環境課 クリーンセンター
	対応	修正有： 前期基本計画では未決次項が多く「クリーンセンター再整備事業」については、未記載だったが、鎌倉市及び逗子市との2市1町のごみ処理広域連携について覚書が締結される等の進展があったことから、指標に「クリーンセンター再整備事業」を新たに追加し、併せて現状と課題や単位施策を修正しました			

22	循環型社会の形成	50	特別委員会	ごみ処理経費の削減について現状と課題で言及すべき。減ったが、もう限界に近い状況。今後は何か新しい工夫がないと減らない。	環境課 クリーンセンター
		対応		修正有 ：家庭から排出される可燃ごみのうち、約5割が生ごみとなっていることから、ごみ処理経費の削減に向けては、可燃ごみの更なる減量化が必要で、現行の生ごみの自家処理に加え、新たに生ごみの分別収集による資源化によりごみ処理経費の削減を目指すため、現状と課題を修正しました。	
		51	審議会	指標について「生ごみ処理機普及世帯率」とあるが、実際に使われているのかわからない。具体的にごみが少なくなっているような数字など、直接的なわかりやすい数字で減量化につながっているものを指標にした方がよい。	環境課
		52	審議会	循環型社会の形成の指標として、生ゴミ処理機普及のみというのは整合性がとれないのではないか。（生ゴミ処理機は、ゴミの減量には寄与するが、処理後にゴミとして廃棄されていることが多く、肥料等に活用していることは少ないのではないか。）発生抑制や再資源化の指標が必要ではないか。	
対応		修正有 ：前期基本計画では、「生ごみ処理機普及世帯率」を指標として、ごみの資源化・減量化を推進してきたが、生ごみ処理機の使用状況調査において、使用を中断する事例も見受けられたことから、指標として好ましくないため削除し、「リサイクル率」を、前期基本計画に引き続き指標とします。			
23	地球温暖化対策の推進	53	特別委員会	かながわ気候非常事態宣言の記述を入れた方がよいのではないか。	環境課
		対応		修正有 ：令和2年2月7日付けで宣誓された「かながわ気候非常事態宣言」を単位施策「資源エネルギー対策の促進」に取り入れることで、脱炭素社会の実現に向けた取り組みをより推進していくためのメッセージとするため、単位施策に追記しました。	
		54	特別委員会	自然エネルギーや食糧の自給について、自治体として取り組む姿勢を基本計画に明記した方がよい。	環境課
対応		修正無 ：地球温暖化対策の推進について、「行政・事業者・町民それぞれが、エネルギー使用量の無駄をなくすための方法を見出し、実践」することをめざす姿として掲げており、食料の“自給”に関することは、本項目に記載することは好ましくないと考えます。			
27	災害に強いまちづくりの推進	55	特別委員会	避難場所の整備という感覚はないのか？昨年台風の避難所は蒸し暑かった。福祉文化会館が一番快適だった。この施策の中で位置づけできないか？	防災安全課
対応		修正有 ：単位施策27-03「防災基盤の整備」の一部を加筆修正しました。			
28	防犯・交通安全対策の推進	56	特別委員会	道路交通法が厳しくなったことを踏まえて、基本計画の中で取り組みを強めてもらいたい。	防災安全課
		対応		修正有 ：単位施策28-02「交通安全対策の推進」の一部を加筆修正しました。	
		57	特別委員会	まちづくり指標について、犯罪発生件数等の目標値0件は目指せるものなのか？結果的に0件となるための施策をめぐり値にしたほうが良いのでは？	防災安全課
対応		修正有 ：単位施策28-02「交通安全対策の推進」のまちづくり指標(めぐり値)を平成16年からの推移の状況を勘案し、修正しました。			
29	各種相談体制の確立	58	特別委員会	福祉分野では、継続して相談できる体制が重要。その部分もよろしく願います。	福祉課
		対応		修正無 ：福祉分野の相談については、基本施策18地域福祉の充実、基本施策19高齢者福祉の充実、基本施策20障害者福祉の充実、で対応してまいります。各種専門相談の中には、成年後見制度相談も含まれているものと考えています。	